

# 児童が居心地の良さを感じる学級経営

## —道徳の授業と学級活動のパッケージ型ユニットの実践を通して—

教育実践高度化専攻 児童生徒発達支援コース 生徒指導・教育相談系  
櫻井 祥子

児童の実態に合わせたテーマを設定し、道徳の授業と学級活動を組み合わせたパッケージ型ユニットを実施することで、自他の良さや考えを理解し、認め合うことがしやすくなり、児童にとって居心地の良さを感じられる学級につながると考え、主題を設定した。

教科書教材だけでなく、自作教材も用いた道徳の授業やグループアプローチを取り入れた学級活動を組み合わせて、時期や児童の実態に応じて実施することで、児童に多面的・多角的な視点を与えることができ、あたたかい人間関係づくりに役立てることができた。また、教室に常設した掲示板や学級通信で児童の成長の様子を児童本人だけでなく、学級全体や家庭へ伝えたり、互いの頑張りを肯定的に評価し合ったりする活動を通して、授業での学びを日常につなぐこともできた。これは、同じように実践を行った3年目の若手教員の学級でも同様の成果がみられた。

このことから、パッケージ型ユニットを活用した本実践を行うことによって互いの良さや考えを認め合うことができるようになり、協力し合って学級生活を過ごす意識を高めることができると言える。